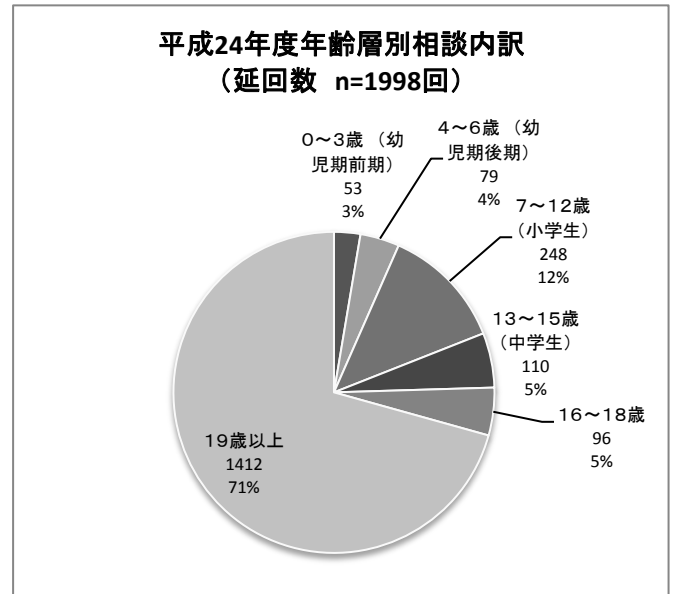
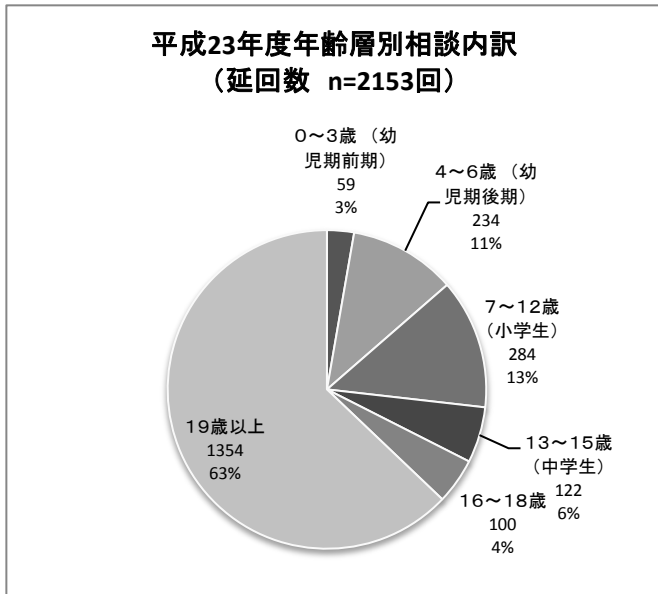
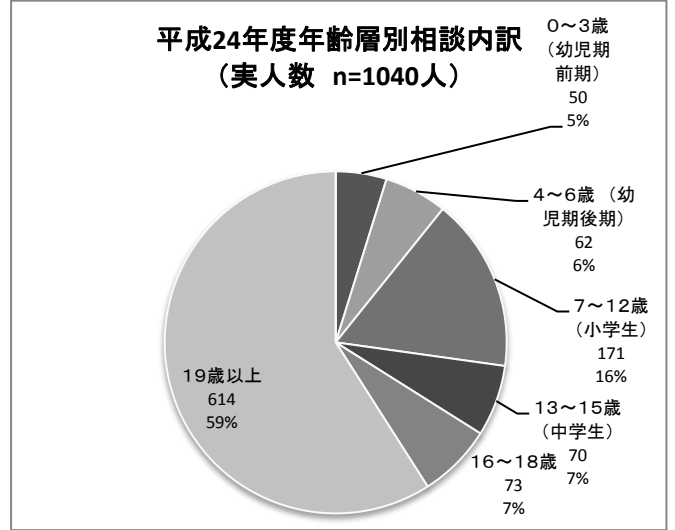
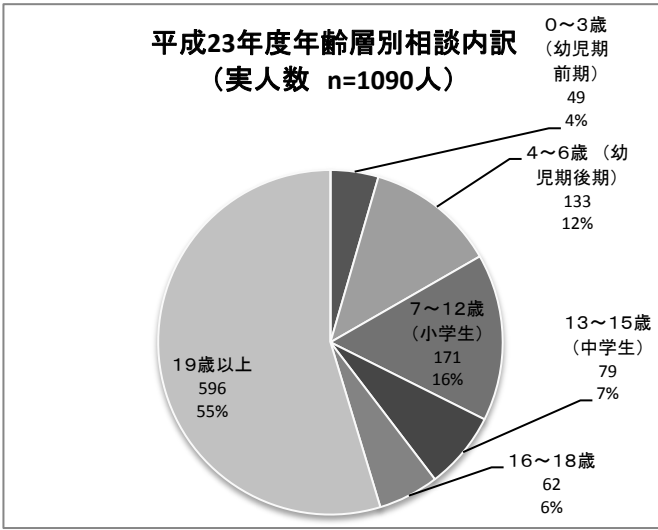


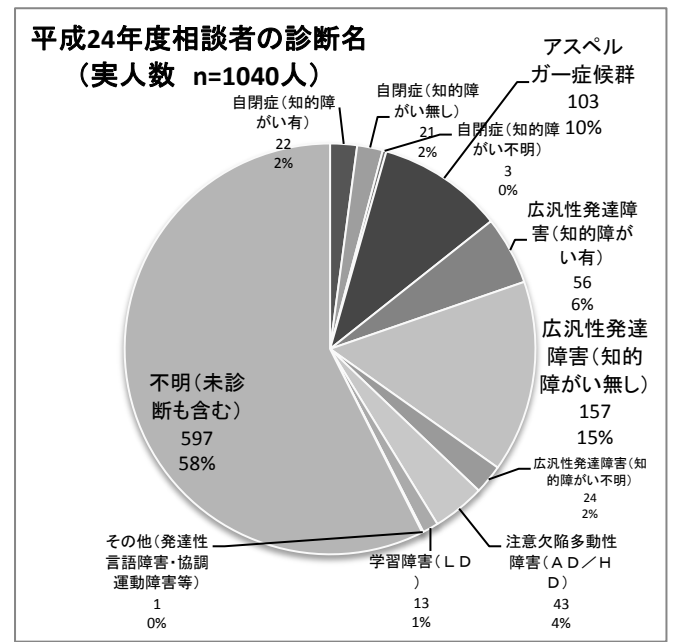
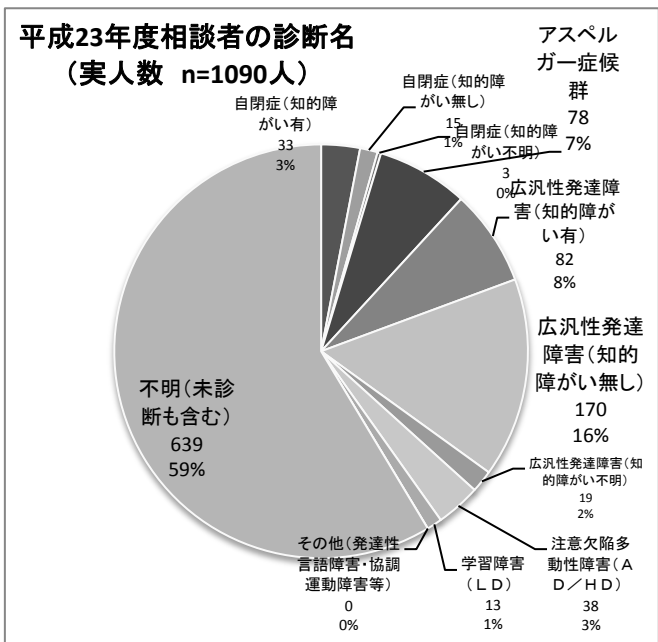
<相談支援>

1 年齢層別相談支援人数(実人数/延人数)

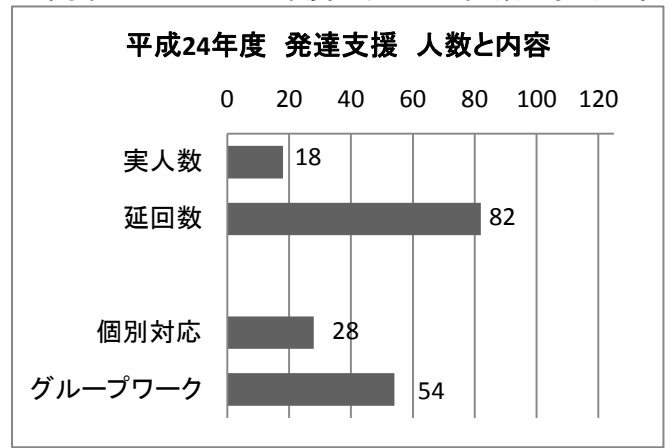
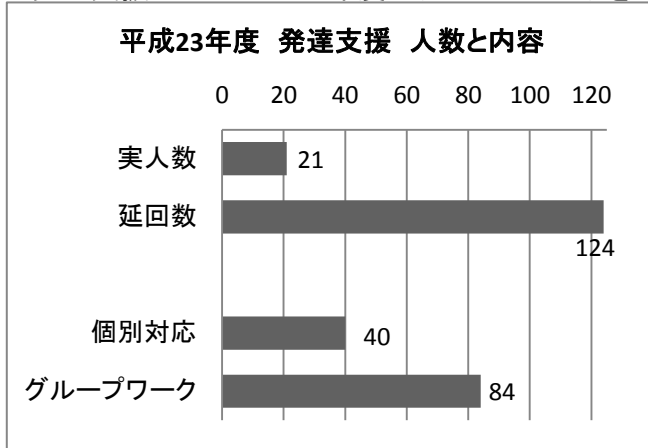
実人数・延回数ともに減少しているが、成人期の件数は増加している。(延回数で58回)



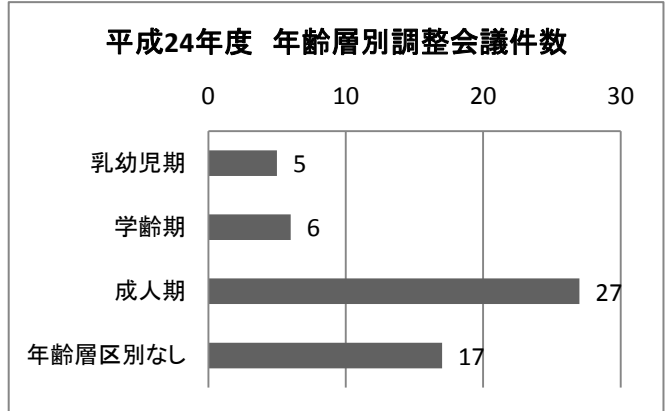
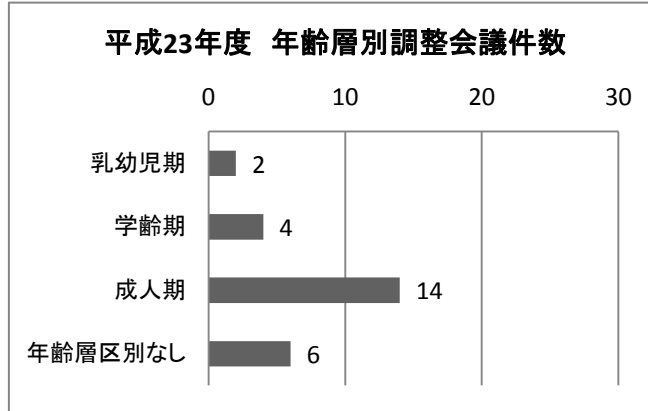
2 診断名別相談支援者数(実人数)



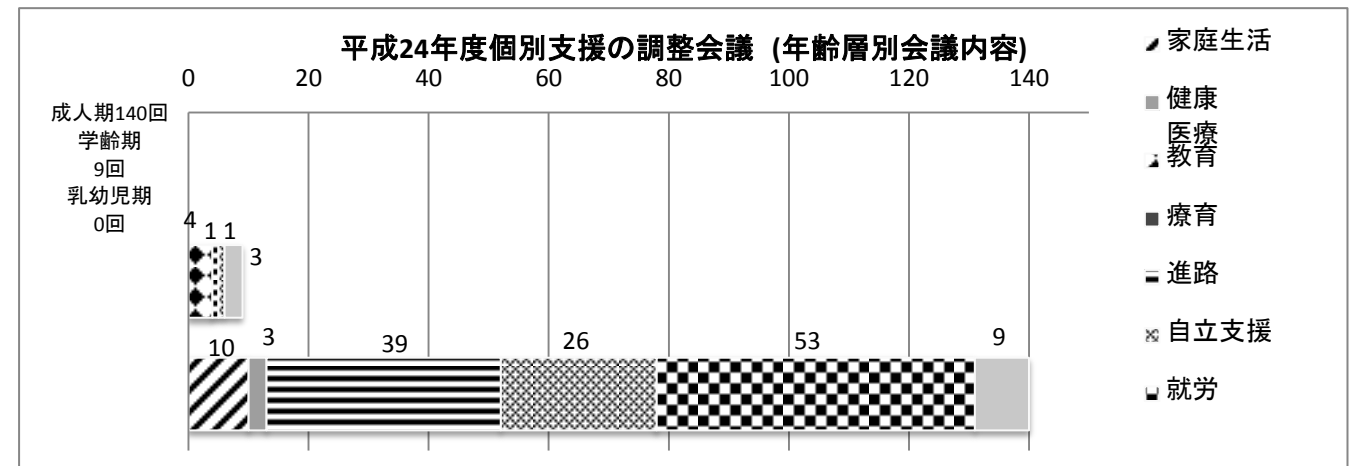
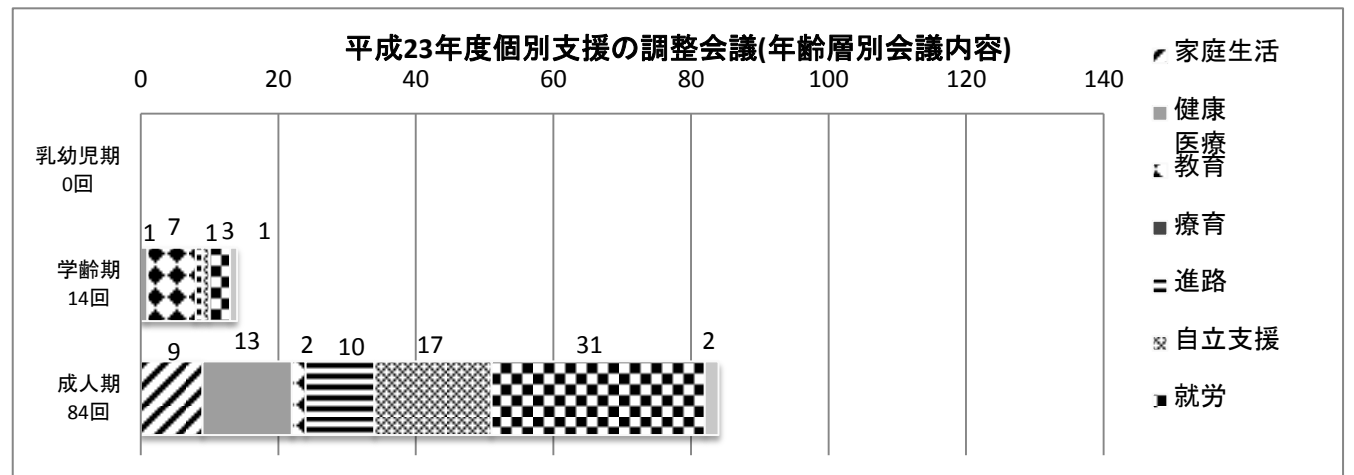
<発達支援> H24年度はグループワークを7月から開始したためH23年度よりも延べ回数が少ない。



<調整会議> 調整会議(支援者会議)も成人期が増加(23年度の約2倍の増加)。



<個別支援調整会議> 個別支援の調整会議も成人期の件数が増加している(23年度の約2倍)。



・相談支援の実人数が平成23年度、平成24年度ともに約1000件と推移してきている。
内訳では、幼児期から学齢期までは減少傾向にあり、既存の保育所や幼稚園等の関係機関における対応力の高まりが影響していると考え。一方、成人期については実・のべともに相談が増加しており、40-50代の方の相談が増えている印象がある。

・相談の主訴については、「情報提供」「家庭生活」「健康・医療」の相談が多く、3つの実人数・相談件数を合計すると概ね23年度24年度ともに同程度の件数となる。近年「発達障がい」の情報が広まりつつある中、情報提供にとどまらず、より丁寧に1件1件時間をかけて相談を受けることにより、相談主訴がはっきり分類された結果と考える。中には、情報提供からその後の家庭生活の相談や健康・医療の相談に理解を促し就労を目指す事例も増えてきている。

<その他>

1 平成24年度 発達障がい者巡回相談支援事業

	巡回施設か所数	延べ巡回回数
保育園	46	164
成人施設(再掲)	18	24

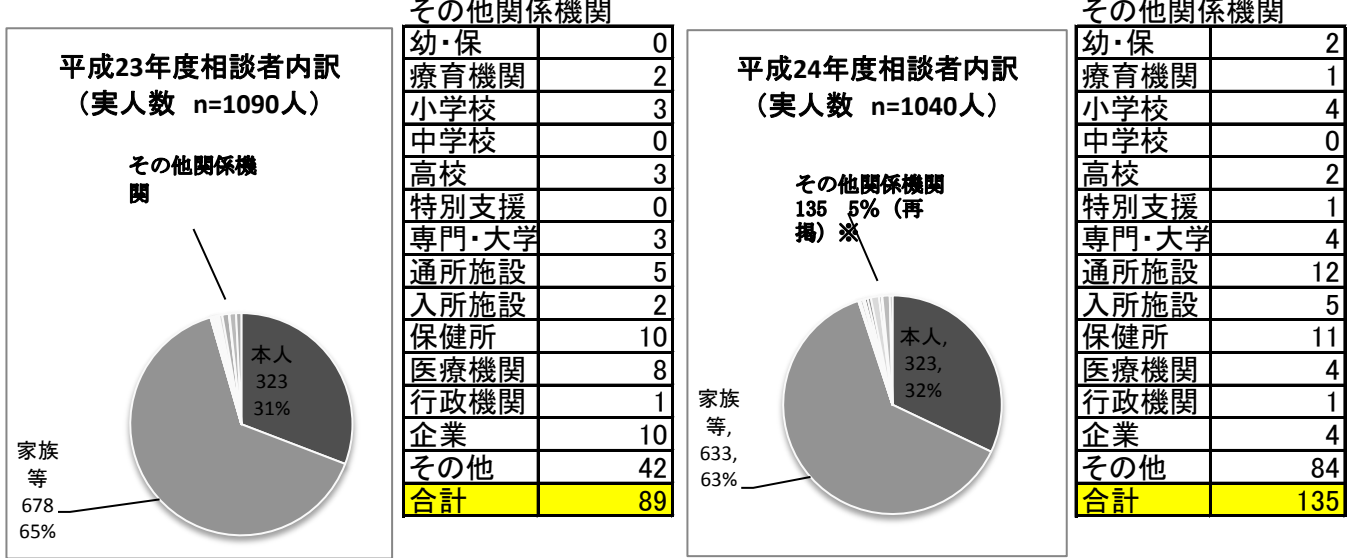
2 平成24年度 児童発達支援整備促進事業

・研修実施事業者2事業者(更生療育センター、都島子ども園)

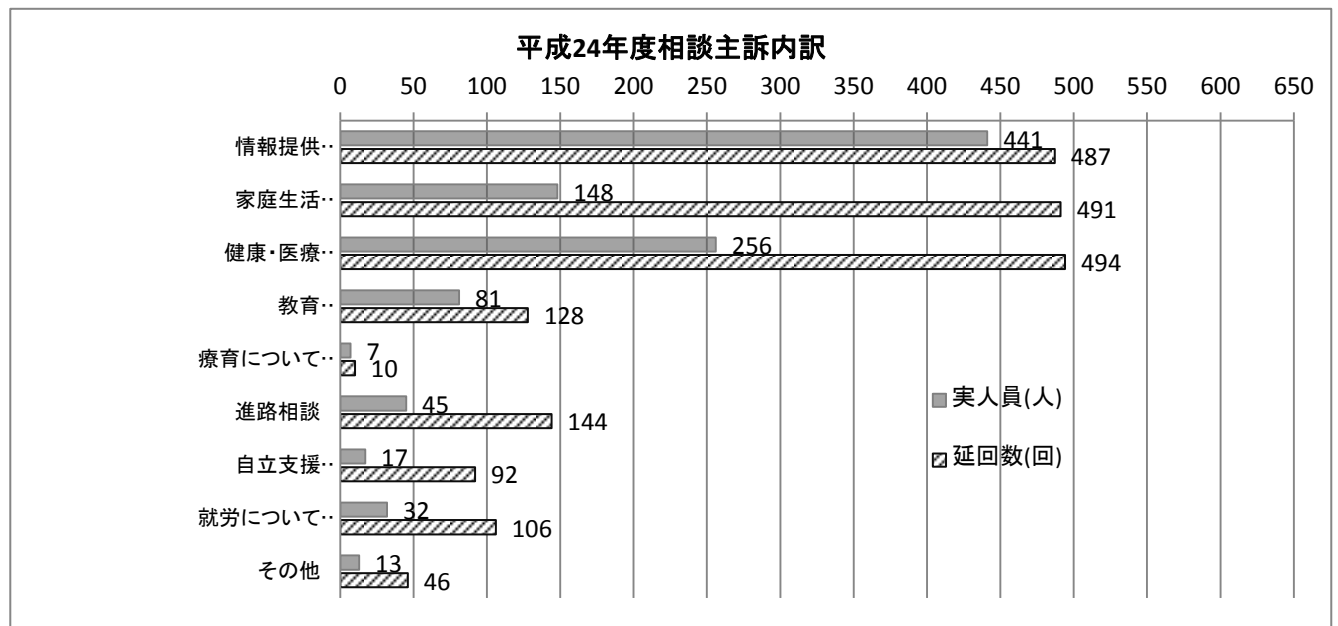
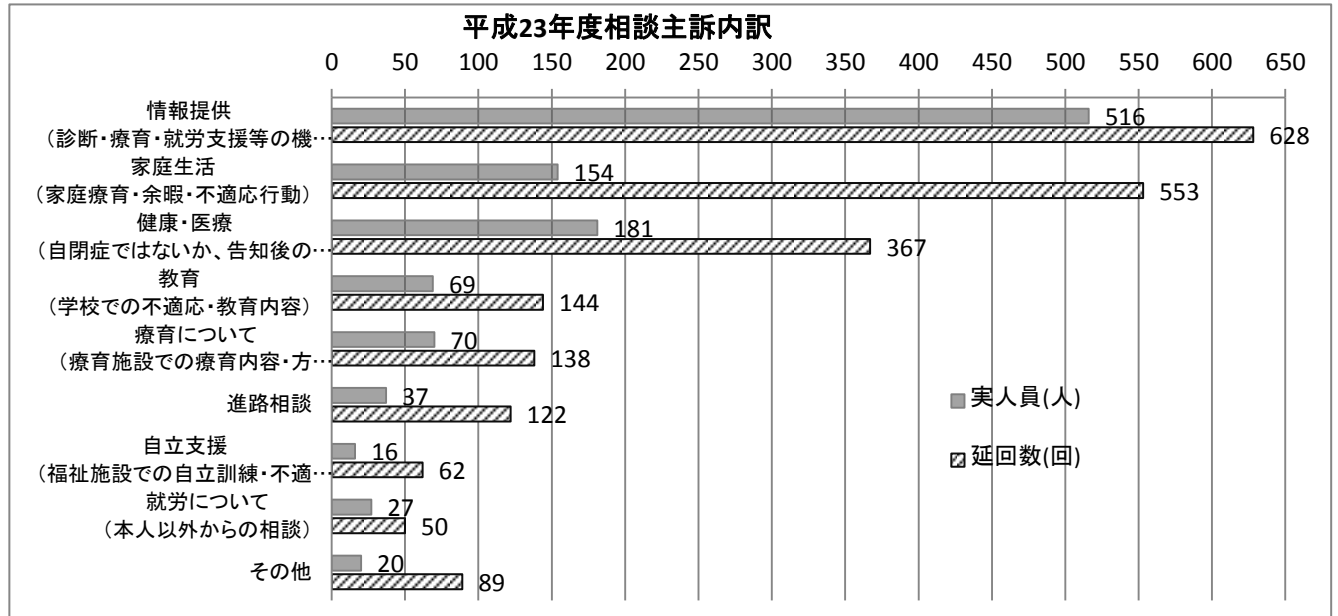
・研修参加状況

児童発達支援事業/放課後等デイサービス事業	30
放課後等デイサービス事業	3

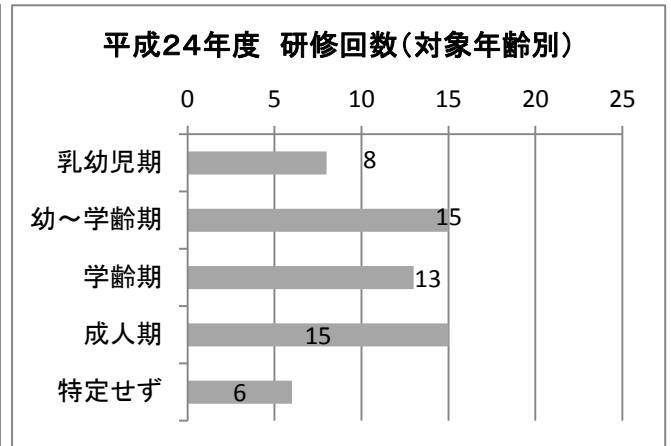
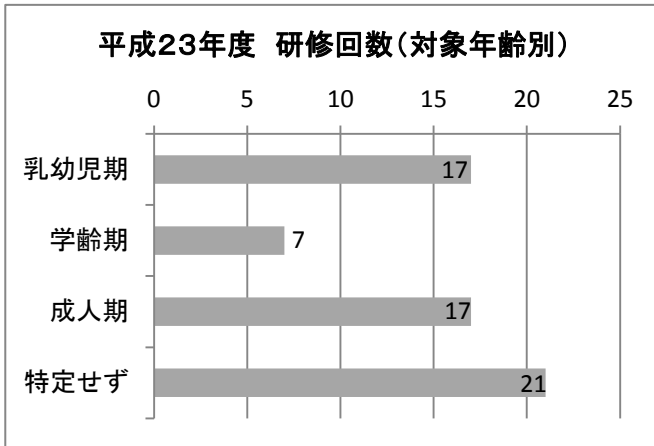
3 相談者内訳数



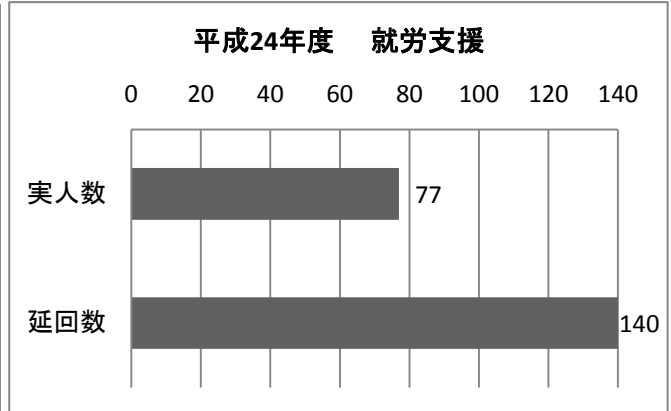
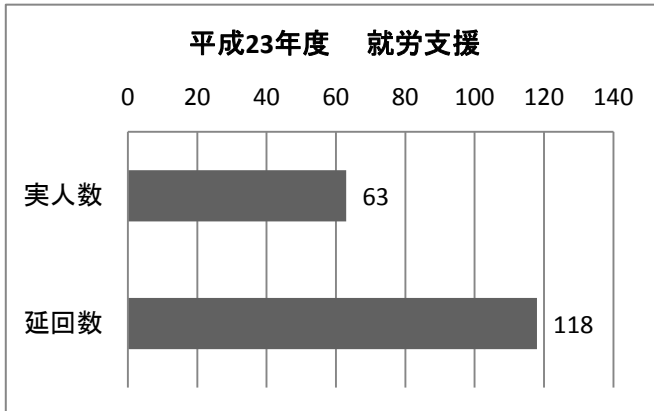
4 相談主訴内訳数



<研修>

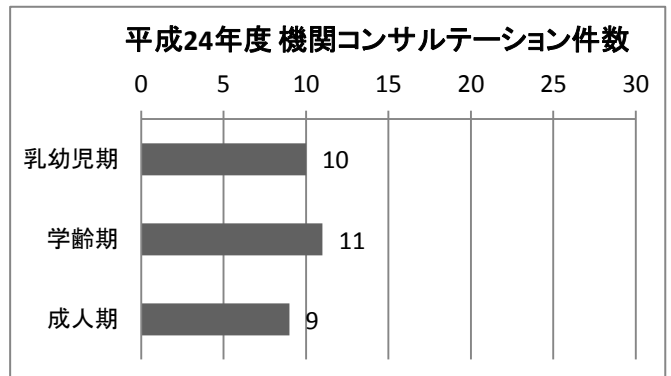
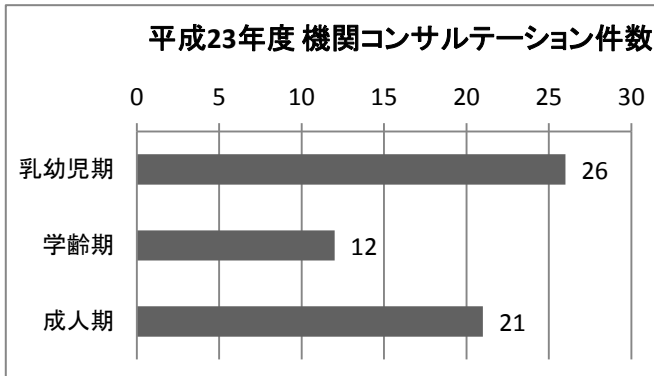


<就労支援>

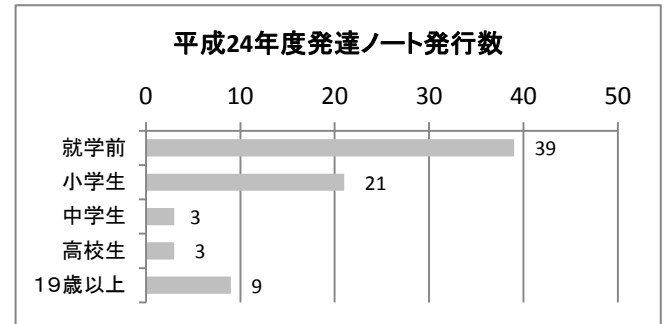
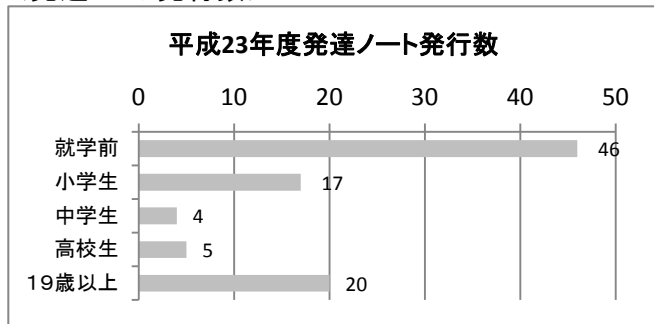


<機関コンサルテーション>

成人期ケースについては個別支援会議の中で個別の支援について助言するケースが多い。
マンパワーの関係もあり機関コンサルテーションについては全体数が減少している。
社会資源不足のために相談ケースの支援がスムーズに進まない現状もあり、機関支援の強化が望まれる。



<発達ノート発行数>



	21年度(1月～3月)	22年度	23年度	24年度
年度発行数	71	144	92	75
累計	71	215	307	382